

令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	海の生物と環境の相互作用		
実習内容	<p>海洋生態系は、生物と環境との相互作用によって形成される。本実習では、野外観測と調査を通じて、生態系構造を規定する環境要因と生物群集の関係を総合的に理解する。下田湾内外における CTD 観測および採泥調査により、水環境と亜潮帯底生生物群集の関係を解析する。また、岩礁潮間帯の微環境（マイクロクライメイト）に着目し、物理的ストレスと生物間相互作用が群集構造に与える影響を検討する。さらに、野外データに基づく仮説検証型の実験デザインを学び、調査設計と解析の基礎を習得する。</p> <p>Marine ecosystems are structured by interactions between organisms and their environment. This course provides an integrated framework for understanding how environmental drivers structure marine communities through field observation and quantitative analysis. CTD observations and benthic sampling inside and outside Shimoda Bay will be used to examine relationships between water properties and subtidal benthic communities. In addition, microclimatic variation in rocky intertidal habitats will be investigated to evaluate the relative importance of physical stress and biological interactions in structuring communities. Students will also learn hypothesis-driven experimental design based on field data, developing foundational skills in ecological study design and analysis.</p>		
実習内容キーワード	海洋生態学、環境勾配、底生生物群集、マイクロクライメイト、実験デザイン		
担当教員氏名・所属・役職名	Harvey Benjamin・筑波大学生命環境系・助教		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	修士	開講期間	2026/10/5（月）～ 2026/10/8（木）
開講大学・施設名	筑波大学 下田臨海実験センター		
施設の住所	〒415-0025 静岡県下田市 5-10-1 筑波大学下田臨海実験センター		
電話	0558-22-1317	F a x	0558-22-0346
e-mail	ben.harvey@shimoda.tsukuba.ac.jp	Web Site	https://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/
交通案内	伊豆急行線『伊豆急下田』駅下車、徒歩約 30 分、タクシーでは約 5 分。バスでは、駅前のバスターミナルより石廊崎、下賀茂、仲木方面行きに乗り約 5 分、『鍋田口』で下車して徒歩約 5 分。		
費用	6,200 円(宿泊費と食費、若干の変動の可能性有、交通費は各自負担)		
授業科目名	マリン生態環境科学		
単位数	1	定員数	5
授業料の徴収について	なし。ただし、各大学から筑波大学生命環境学群長宛てに指定の特別聴講学生願書を提出すること。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超える場合には、受講生選抜基準は先着順。ただし、なるべく多くの大学から受け入れるよう抽選などにて調整する可能性がある。 申し込み締め切り：2026/7/24（金）		
選抜結果連絡法	e-mail と郵送によって、履修に必要な書類とともに本人に連絡する。		